

TAIHEI NOW

TAIHEIとお客様をつなぐコミュニケーションペーパー

見過ごし追放！修正前と修正後の見比べが可能に

修正部分を強調したり、あおり表示をすることができるので、修正箇所を漏らさず確認することができます。



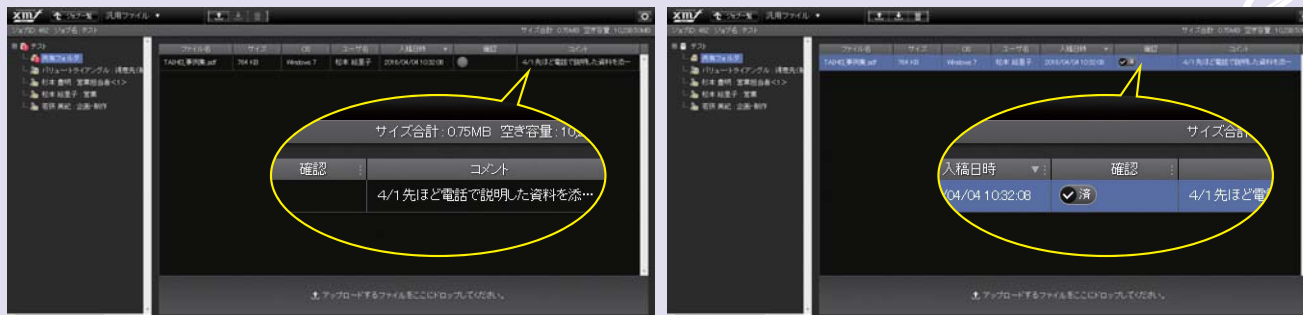
- 強調…変更したところが緑／赤と点滅します。
- あおり…変更箇所が点滅して変更を示します。

また、修正箇所以外が変わっていないかの確認にもなり安心です。



制作に必要な支給物も、XMF上で受け渡しが可能

データは最大10ギガまでドラッグ&ドロップでアップすることができます。



- フォルダにデータをアップロードすると同時に、何のデータなのか補足説明も入れられます。
- 送った相手に連絡しておけば、そのデータを確認してもらえたかどうか画面上で確認できます。

ますます早く、確実に。
XMF Remoteで作業の
効率アップ！



interview

大平印刷 製造部 副部長 石田 幸義

新ワークフローシステム
XMFでめざす大平印刷の未来

ますます早く、確実に。XMF Remoteで作業の効率アップ!

●インタビュー●

印刷業界の新ムーブメント、ワークフローシステムを活用する

データ共有、検版機能、そしてオンライン校正など、印刷物制作のさまざまな場面で活用が期待される XMF。大平印刷が 2015 年に導入したこのシステムの活用について、製造部の石田副部長に聞きました。

XMF導入の背景や導入に至る経緯を教えてください。

XMFのようなシステムは10年ほど前から遠距離でデータのやり取りをするアメリカなどで使われていました。近年、日本の事情に合わせた同様のシステムが、さまざまなメーカーから出てきたのです。

これまでの印刷技術は人の努力や工夫で改善してきた部分が多かったのですが、こうしたシステムを導入することで現場が便利になるだけでなく、正確性の向上やスキルレスにもつながると判断し、導入を決めました。

XMFにはどんなメリットがあるのですか?

主に3つあります。1つ目はオンライン校正による制作時間の短縮、2つ目は検版機能による正確性の向上、3つ目はデータ共有が簡単になることです。

まず制作時間の短縮についてお話ししましょう。XMFで制作物のデータを表示させると、画面に直接修正指示が書けます。お客さまが修正を画面に直接書けば、印刷会社の現場では同時にその修正を見て反映し、営業が帰社する前に修正は完了されている、というくらいの早さが出せます。少しでも時間を節約したい場合にはメリットの大きい機能です。

次に検版機能とは、修正前後のデータ比較ができることで訂正が漏れなく反映されているか、さらに修正を指示していない部分が変わっていないかなどが洗い出せるものです。検版機能は、特に文字校正が多いお客さまに好評です。制作中のデータはXMFにアップするだけで関係者全員が共有できますし、過去にアップしたデータもすべてXMF内に残せるので、ジョブ※の中で最新のデータと過去のデータ



大平印刷株式会社
製造部 副部長
Yukiyoshi Ishida
石田 幸義

をいつでも比較・確認することができます。

最後に、XMFでは関係者間でのデータの共有がとても簡単になります。ジョブの中ではその業務にかかわるメンバーなら、データをドラッグ&ドロップするだけで共有できます。その際、パスワードも不要です。

XMF導入により、最終的に大平印刷がめざすのはどんな姿の会社ですか。

大平がめざすのは、お客さまとの信頼関係向上と社内フローの効率化実現だと思います。お客さまとの信頼関係の向上は、印刷会社としてミスを出さないことや、正確性向上であったりしますが、こうした場面にはXMFが非常に力を発揮します。効率改善も同様です。

今はまだ試行錯誤の段階ですが、2年3年と使っていくことでノウハウを蓄積し、XMFを使わないと仕事にならない、というくらいをめざしたいです。

まだまだやるべきことは多いのですが、お客さまに「大平さんにXMFがあってよかった」と言っていただけるようになりますね。

お客さまとのさらなる信頼関係向上を目指す XMF。その機能をご紹介します。

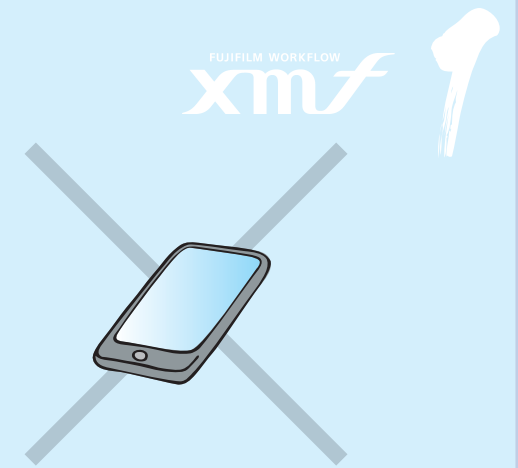
多彩な端末から閲覧可能です

会社から、外出先から、自宅から。どこからでもアクセスできます。

推奨端末



パソコン(デスクトップ、ラップトップ)、タブレット

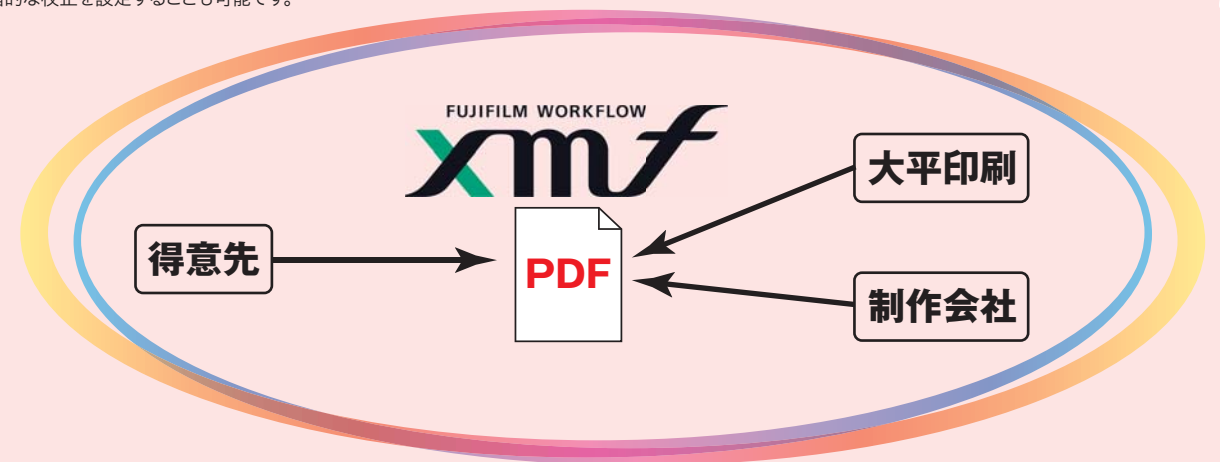


スマートフォン
(画角の関係できちんとページが見えません)

グループで1つのデータを共有可能

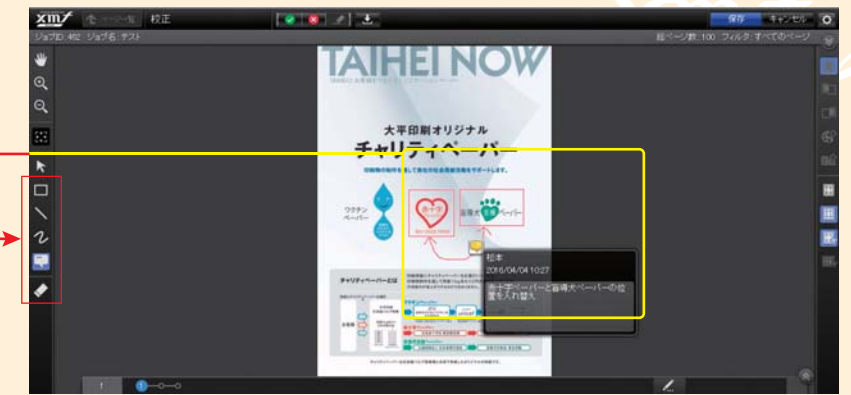
業務にかかわるすべての方(お客さま、制作会社さま)で一つのデータを共有できます。

※段階的な校正を設定することも可能です。



画面上での修正指示が可能

校正ツールが用意されており、直接、画面に赤入れしたり、補足のメッセージを入れることができます。タブレットでも修正指示ができます。



●左側のツールを使って、画面上に直接赤入れができ、指示も書き込めます。

※XMFでは業務ごとに1つのフォルダ(XMFでは「ジョブ」と呼ぶ)が立ち上がります。